



第 87 回春の選抜高校野球大会出場!!

東海大学付属第四高等学校

野球部 (2 年生)

齋藤 龍生 さん

Saitou Ryusei

練習時の真剣な表情から一転してインタビュー時は笑顔が絶えない齋藤さんでした。



今月 21 日から甲子園で開催される、「第 87 回春の選抜高校野球大会」に出場する北海道代表校の東海大学付属第四高等学校野球部の中に、西当別中学校出身の齋藤龍生さんが練習で汗を流していました。

キャッチボールがきっかけ

野球を始めるきっかけは、家族の影響が大きかったと思います。幼い頃から父親とキャッチボールをしたり、2 歳年上の兄が少年野球に入っていたこともあり、小学 3 年生の時に地元の少年野球チーム（太美ウォーリーズ）に入りました。その当時は、あまり上手ではなかったですが野球は大好きでした。練習を積み重ね、4 年生の時にピッチャーとして試合に出場して初めて勝利しました。その頃から野球の楽しさを実感し、「もっと上手くなってたくさん試合に出場したい」という気持ちが大きくなったと思います。

ライバルとの戦い

中学時代は学校の部活と札幌のシニアリーグの両方を掛け持ちしていました。特にシニアリーグは各地から選手が集まるので、全員がレギュラーには入れるよう必至でした。「絶対に負けない」という気持ちはこの頃から強くなったのかもしれない。そして、監督やコーチの勧めもあり、東海大四へ進学しました。1 年生の時は、身体の基礎を鍛えるためにとにかく走り込みました。ボールに触らない練習日が続き「何をしてるんだろう」と悩んだこともありましたが、先輩方も同じ練習を乗り越えてきたこと、これまでの苦労を無駄にしない一心で頑張りました。特にバッターとして心がけていることは、ボールの配球を絞り込み予想通りのボールが来たときに迷わずバットを振り抜くことです。思いきりの良さが自分の特徴だと思います。そして昨年、春の大会で初めてベンチ入りをする事ができました。控え選手ではありましたが、とても嬉しかったです。21 年ぶりに出場した夏の甲子園ですが腰痛が悪化してしまい、残念ながら甲子園の土を踏むことはできませんでした。でも、気持ちを切り替えて秋の大会に照準を合わせ、練習に励みました。そして、秋の北海道高等学校野球大会に出場し、チームに貢献できたことは自分にとって誇りです。

夢中になれること

勉強やスポーツ、人それぞれに得意なもの、好きなものがあると思いますが、「夢中になれるもの、熱くなれるもの」を何か見つけ、それに熱中することが大切だと思います。諦めずに頑張れば結果は出ると信じています。今回の選抜大会に選手として出場できるよう自分にできることを精一杯頑張りたいと思います。
(2月9日取材)

2 月 13 日に出場選手の正式発表が行われ、5 番サードでのベンチ入りが決定した齋藤さん。甲子園での活躍に期待します！！